産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(29年度:計画作成主体:美幌町農業再生協議会)(北海道)

取組の概要

対象品目 : 人参(産地面積280ha) 主な取組主体:美幌町農業協同組合 成果目標 : 販売額の10%以上の増加

> 基準 (H27年度) 403,941円/10a 目標 (H31年度) 492,597円/10a

> > 需要に応じた供給

普及センター等

定期的な栽培技術講

習会の開催

導入施設等 : 生産支援事業 (機械リース)

(収穫機 4台)



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

現状のコントラクター収穫機の台数では適期収穫を行うことが出来ず、生産性・品質性が低下し、収益性向上が図ることが難しい状況にある。

人参の作付面積を拡大することで所得が向上するほか、経営体系に人参を取り 入れることで輪作体系の維持が出来ることから、コントラクター体制を強化する ことで産地全体の収益力向上を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】

適期収穫により生産性と品質を向上させるため、人参収穫機を導入

産地体制

美幌町農業協同組合

人参収穫機の導入 ・コントラクターによる労働力確保

・適期播種による収益力の向上

需要に応じた供給

品位・単価等の共有

導・助言

生産農家-

・コントラクター活用による動労時間削減及び人参作付面積拡大

・収益性の高い人参の作付拡大

に伴う所得向上

取組成果

【事業実施による直接効果】

①人参収穫機導入による適期収穫及び 収益性の向上

②人参作付面積の拡大

【事業実施による間接効果】

①輪作体系の維持による地力の向上や 病害虫の発生防止



販売額が

8.8%増加 (達成率40.25%)

目標値 492千円/10a

439千円/10a 403千円/10a 272千円/10a H27 H29 H30 H31 (基準年) (目標年)

実績値 (所得額)

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・生産性向上を図るための栽培講習会の開催
- ・コントラクターにより労働力不足を補い、輪作体系の維持を図る営農スタイルを構築